



日本とキューバの関係は、2016年9月の安倍総理大臣のキューバ訪問以来大いに進展してきました。

ですが、経済ビジネス関係については発展の余地が大きいと言わざるを得ません。

1970年代、日本はキューバの西側最大の貿易相手国でした。

今日では貿易額は2018年でキューバの日本からの輸入が38.86百万ドル、キューバの対日輸出が17.02百万ドルに留まります（財務省統計）。

キューバに進出している日本企業も約20社です。

その背景には様々な要因があると承知しています。

そうしたところ、私は去る7月にディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長が人民権力全国議会において、「キューバは外国企業に債務・不払いを有する・・・しかしキューバは真摯に取り組み約束を守る」と述べたことに注目しました。

国の最高指導者による、心強い発言と受け止めました。

私は、新憲法の下でのキューバにおいて、日本企業が一層の活躍が出来るようになることを心から祈念しています。

また、そのための外交的努力を続けていく所存です。

令和元年8月

駐キューバ日本国大使 藤村和広



EMBAJADA
del JAPÓN
CUBA